

研究 Report



No. 3 令和4年10月 池袋本町小学校

今年度の研究主題“自分らしい生き方を求める児童の育成－「考え、議論する道徳」の授業づくりを通して－”を踏まえ、4年生では「公正・公平」について考える授業を行いました。大人でも考えることが難しいテーマですが、教科書に載っている「ちょっと待ってよ」という教材をもとに、「誰に対しても同じように」というテーマで、子供たちと一緒に「公正・公平」について考えました。授業を通して、意図せず不公平感を友達に与えてしまうことがあることにも気付き、誰に対しても同じように接することの難しさや大切さなどについて考えたり、話し合ったりする授業となりました。

今回の研究 Report では、第3回目の4年3組の佐々木学級の研究授業の様子をお知らせします。

- 1 講師 新宿区立戸塚第一小学校校長 表迫 信行先生
- 2 主題名 「だれに対しても同じように」(C 公正, 公平, 社会正義)
- 3 教材名 「ちょっと待ってよ」
- 4 授業内容



【本時の目標】

自分の好みや考えを優先するのではなく、一人一人の考えを尊重し、誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接する実践意欲や道徳的態度を育む。

【主な学習活動】

導入

『誰に対しても「公正・公平」に関わる』とはどういうことか、自分の意見をワークシートに書きました。「男女差別をしない」「仲間はずれをしない」などの意見が挙がりました。



展開前段

教材の登場人物である「正広・京一・静花」の3人になりきって、教科書に出てくるせりふの続きを考えました。その際、「でもトーク」という方法をとりました。相手の言っていることに対して「でも…」と続けることで、登場人物の気持ちや行動を多面的・多角的に考えることができました。

授業の中で子供たちが、意欲的に自分の考えを深めて話し合っている場面でした！



展開後段

展開前段でのやりとりを踏まえて、「公正・公平」について再度考え、ワークシートに自分の意見を書きました。『だれに対しても「公正・公平」に関わる』ということについて、

- 誰に対しても同じような態度で正しく向き合うこと
 - 相手の考えを踏まえた上で、正しいと思うことを平等に接すること
- などの意見が出ました。導入で考えたときよりも、子供たちの考えが広がった様子が見られました！



終末

『わざとではなくても「公正・公平」にできない場面ってあるよね。』と言う担任の話に、子供たちは真剣に耳を傾けていました。今後の生活でも、「公正・公平」とはどのような態度なのか考えていきます。

